

台風による輸送障害について

平成16年9月15日

7月から9月に上陸した5個の台風により、各線区において強風、大雨による運転規制や線路災害などが発生し、貨物列車に多数の運休及び大幅な遅れを生じました。

1. 台風の発生状況と列車影響

(1) 台風10号(7月31日(土)～8月1日(日))

7月31日16時頃、高知県西部に上陸後、勢力を弱めながら北西に進み、8月1日未明に山口県から日本海に抜けました。

これにより、山陽・本四備讃線が運転中止となりました。

(運休本数) コンテナ列車 26本

(2) 台風11号(8月4日(水)～8月5日(木))

8月4日22時30分頃、徳島県に上陸後、瀬戸内海に抜けて5日未明兵庫県に再上陸し朝には熱帯低気圧に変わりました。

(運休本数) ありません。

(3) 台風15号(8月18日(水)～8月21日(土))

8月17日から18日にかけて、九州の東海上を北上し日本海上を進み、20日には青森県を横断して、太平洋に抜けました。

これにより、鹿児島・山陽・予讃・日本海縦貫・東北・海峡・江差・函館線が運転中止となりました。

(運休本数) コンテナ列車 16本

(4) 台風16号(8月28日(土)～9月1日(水))

8月30日の朝に九州・中国地方を進み日本海上を北上、その後、青森県を横断し北海道に再上陸したのちオホーツク海に抜けました。

これにより、鹿児島・肥薩おれんじ鉄道・日豊・山陽・本四備讃・伯備・予讃・紀勢・東海道・湖西・日本海縦貫・東北・常磐・海峡・江差・函館線が運転中止となりました。

(運休本数) コンテナ列車 121本、車扱列車 3本

(5)台風18号(9月6日(月)~9月10日(金))

9月7日に九州北西部を縦断した後・中国・近畿地方から山陰沖を北東に進み、8日には日本海を北上して、北海道を通過しオホーツク海に抜けました。

これにより、鹿児島・肥薩おれんじ鉄道・日豊・山陽・宇部・本四備讃・伯備・予讃・紀勢・東海道・中央・奥羽・羽越・東北・海峡・江差・函館・室蘭・千歳・石勝・根室線が運転中止となりました。

(運休本数) コンテナ列車 197本

2. 輸送手配

(1)急送荷物のコンテナを途中駅で降ろして、トラックに積み替えて輸送しました。

(2)台風18号関係では、多数の列車運休のため下記の区間で、臨時列車を運転しました。

9月9日(木)に、函館線駒ヶ岳経由で2本の上り列車を迂回運転しました。

9月9日(木)に、東京~九州間で1往復運転しました。

9月11日(土)に、名古屋~九州間で1往復運転しました。

9月12日(日)に、大阪~九州間で1往復運転しました。